



ボランティア紹介リレー

第17回

今回は、『ひだまり』からの紹介で、『ありんこ』をご紹介します。

【活動場所】思いやり会館 【活動時間】10:00~15:30

- ・火曜日 視覚障がい者対象
- ・水曜日 視覚障がい者・導入学習修了者対象
- ・木曜日 聴覚・肢体不自由・知的・精神障がい者対象



勉強会の様子

「ありんこ」とは？

障がいのある方々に、パソコンの楽しさを知ってほしいとの思いから、平成11年に設立して、今年、20周年を迎えました。設立当時は、視覚障がいの方が対象でしたが、現在は、聴覚・肢体不自由・心的障がい等の方々も参加しています。団体名の由来は、一人ひとり「ありのままがいい」との思いを込めて、「ありんこ」にしました。

主な活動は？

パソコンやスマートフォン、タブレット等の導入・活用・購入等の支援を行っています。決まったカリキュラムで勉強するのではなく、それぞれがやりたいことに取り組み、わからないことを会員同士で指導・支援します。また、テーマを決めて学習する特別講座も年4回開催しています。その他に、花見やバス旅行、誕生会、忘年会等の親睦行事にも力を入れています。



20周年記念祝賀パーティー

活動のやりがい・魅力は？

活動に参加した方が、夢や目標を見つけて楽しく日々を過ごしている姿を見ると、この活動をしていてよかったと思います。また、日々の勉強会やたくさんの親睦行事を通して、仲間をつくり、絆を深めることができることが「ありんこ」の魅力です。

市民の皆様へひとこと

パソコンやスマートフォン、タブレット等は障がいを補い、生活を豊かにするツールとなり得ます。これからも多くの方に、使い方・魅力を知っていただき、みなさんのやりたいことや夢の実現のお手伝いをしたいと思います。パソコン等を持っていなくても大丈夫ですので、興味のある方は社会福祉協議会へご連絡ください。(Tel 85-7024)

取材を終えて

会員のみなさんが、和気あいあいと話をしながら手際よくパソコンを使っている姿が印象的でした。そして、活動に参加して仲間がたくさんできたというお話を聞き、「ありんこ」さんがみなさんの集いの場になっていることを感じました。これからも学習の場であり、楽しく集える「こころのオアシス」であり続けてほしいと思います。

おすすめふくしの本

いのちの木

ブリッタ・テッケントラップ/作・絵 森山 京/訳 ポプラ社

図書館で借りることができます。

ある日、森に住む年老いたキツネが旅立ちました。仲間たちにとって特別な存在だったキツネの死に悲しみますが、やがてそれぞれがキツネとの思い出を語りはじめます。すると、キツネが横たわっていた場所から小さなオレンジ色の芽が出てきて、やがてみんなを包み込むほど大きな木になりました。

誰も、いつか愛する人との別れを経験します。でも大切な人は形を変えて、思い出とともにいつまでも心の中で生きることができ、見守ってくれています。いのちのあたたかみが、まっすぐ伝わってくる作品です。

